

助動詞「た・(だ)」「たい・たがる」

月 日
名 前

1 「た・(だ)」過去・完了・存続の助動詞

例 昨日母に手紙を送った。

(過去) かつてそうであったという意味

・今駅に着いた。

(完了) もう物事が終わったという意味

・冷蔵庫に腐った卵がある。

(存続) 引き続いてある状態にある

語	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	おもな接続	活用の型
た	たろ	○	た	た	たら	○	用言の連用形	特殊型

※存続は「〜ている」と言い換えが可能。

※五段活用用のガ・ナ・バ・マ行の動詞(音便形)に続くとき、濁音化する。「学んだ。」

2 「たい・たがる」希望の助動詞

例 将来は声優になりたい。

(希望) 話し手のしたいことを表す

・妹がアイスを食べたがる。

(希望) 話し手以外のしたいことを表す

語	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	おもな接続	活用の型
たい	たかる	たかつ	たい	たい	たけれ	○	動詞の連用形	形容詞型
たがる	たがら	たがり	たがる	たがる	たがれ	○	動詞の連用形	動詞型(五段)

次の各文の——線部の助動詞の意味を後のア〜ウより選び、記号で書きなさい。

① もう授業は終わったところだ。

② かつて私がそうであった。

③ 冷えたジュースが飲みたい。

④ 小学生の頃読んだ本がここにある。

ア 過去 イ 完了 ウ 存続

次の文章の(①)〜(④)に、「たい」か「たがる」を適切な形に活用させて入れなさい。

娘の道子がおばあちゃんに会い(①)たので、私は道子を実家まで連れてきた。本当のところ、私自身が一番母に会い(②)たのであるが……。道子はおばあちゃんとお風呂に入り(③)、私は休憩し(④)なってきたので、ソファでくつろいでいた。

①

②

③

④

